

第6章 重点的に実施する措置（日立市文化財回廊の設定及びサテライトガイドの整備等）

本章では、第5章に示した文化財の保存・活用に関する措置のうち、文化財の普及啓発と地域振興を推進する上で効果的と考えられる「日立市文化財回廊の設定」及び「サテライトガイド（ビジターセンター）の整備」について、重点的に実施する措置とする。

「日立市文化財回廊の設定」については、日立市の歴史文化の特徴①～⑥を示す文化財の集積地を対象として、各歴史文化の特徴を示す文化財や周辺の観光施設等を巡る「文化財回廊」という6つの周遊ルートを設定する。人々が「文化財回廊」を利用した周遊を行うことによって、文化財の普及啓発の機会創出や、周辺事業者等への利益創出の機会促進が見込まれる。「文化財回廊」は、市内全体を対象としたものと、各文化財の集積地を対象としたものの2種類を設定する。

「サテライトガイド（ビジターセンター）の整備」については、「文化財回廊」を利用した周遊の拠点となるビジターセンターを整備する。ビジターセンターは、「文化財回廊」をより利用し易く快適に周遊できる環境を提供し、メインガイドとサテライトガイドの2種類を整備する。

また、「日立市文化財回廊」を補完する取組みとして、日立市コミュニティ推進協議会が作製するコミュニティの「ふるさとマップ（22箇所）」を活用した「日立の魅力再発見ウォーク事業」や、ひたち生き生き百年塾による「日立のまち案内人」等と連携し、より魅力的な周遊性を創出する。

1 メインガイドの整備

ビジターセンターの1種類であるメインガイドは、全ての文化財回廊についての情報が得られる中心的拠点であり、日立市郷土博物館を整備する。学芸員が常駐し、市内文化財の概要から専門的かつ詳細な情報まで得られる施設とする。

2 日立市文化財回廊の設定とサテライトガイドの整備

（1）日立市文化財回廊の設定とサテライトガイドの整備の概要

ビジターセンターのもう1種類であるサテライトガイドは、歴史文化の特徴①～⑥を示す文化財の集積地を対象とした周遊ルート「文化財回廊」を周遊する際の拠点となる、既存または新設の5つの施設である。「①悠久の日立の歩みが刻まれる大地と海」を示す文化財は市内全域に分布しており文化財の集積地は抽出していないため、個別のサテライトガイドは整備せず、歴史文化の特徴②～⑥を示す文化財の集積地内のサテライトガイドを共用する。

サテライトガイドは、周辺文化財の紹介資料の配布や掲示を行うとともに、駐車場やトイレ、給水・休憩設備等の「おもてなし機能」を備えた施設とする。また、日立市コミュニティ推進会やひたち生き生き百年塾等と連携した、市民ガイドによる文化財案内の実施等を検討する。

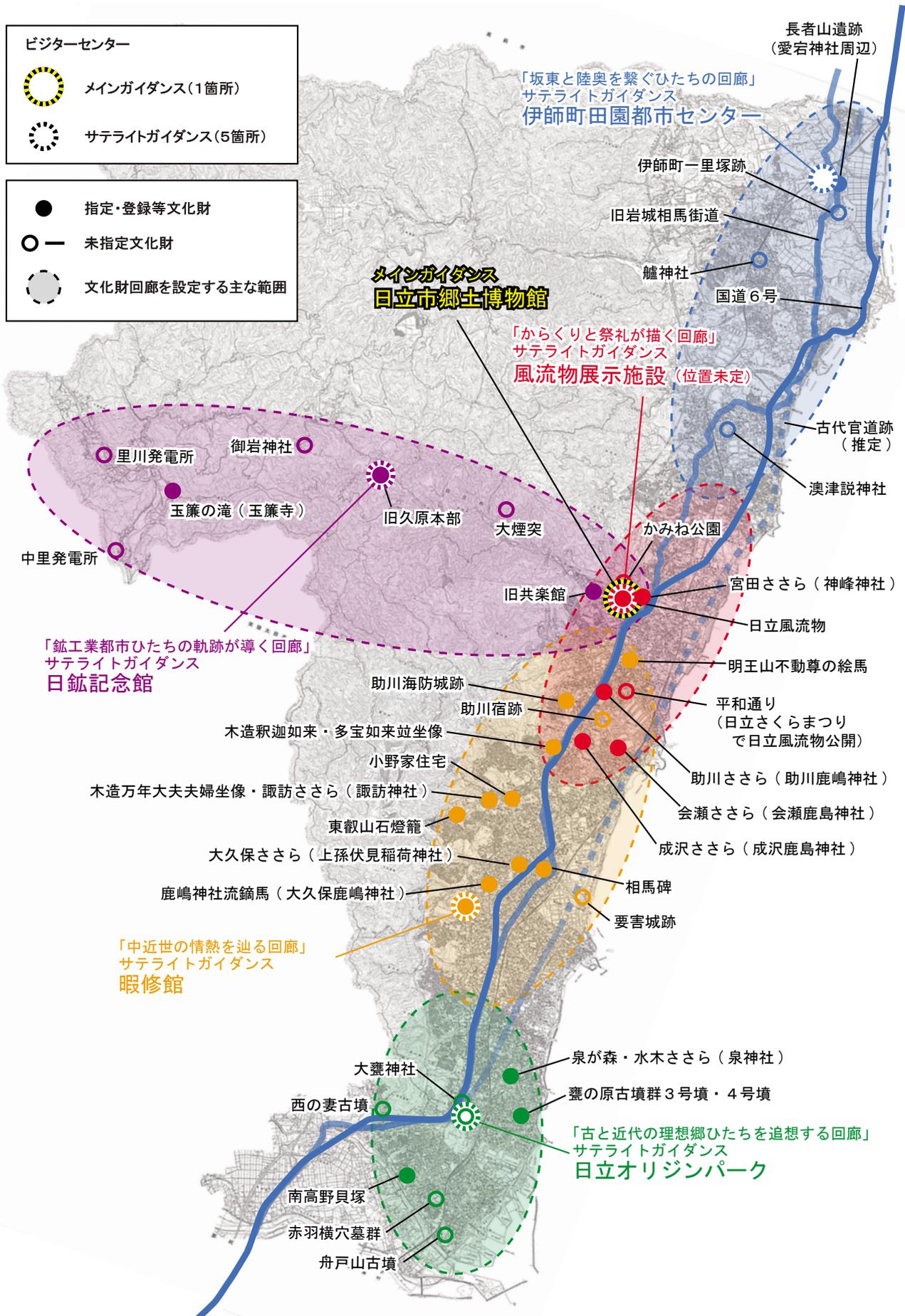
次頁に、本市の歴史文化の特徴と、歴史文化の特徴を示す文化財の集積地を周遊する「文化財回廊」、及び各文化財回廊に設置する「サテライトガイド」の対応関係を示す。

表：歴史文化の特徴と日立市文化財回廊及びサテライトガイダンス

歴史文化の特徴	日立市の歴史文化の特徴を示す文化財の集積地	対象	日立市文化財回廊	サテライトガイダンス
①悠久の日立の歩みが刻まれる大地と海	—	市内全体	悠久のひたちを巡る回廊	—
②『常陸国風土記』が描く原始・古代の豊かな生活	泉が森周辺の集積地	日立市の歴史文化の特徴を示す文化財の集積地	古と近代の理想郷ひたちを追想する回廊	日立オリジンパーク
③領主の庇護下で培われた中近世	③-1 中世の奥七郡から翻った佐竹扇 大窪城跡周辺の集積地		中近世の情熱を辿る回廊	暇修館
	③-2 近世日立を巡った水戸黄門の足跡 諏訪神社周辺の集積地			
	③-3 幕末の海防施設が語る動乱 助川海防城跡周辺の集積地			
④日立鉱山が導いた近代鉱工業都市としての始まりと発展	旧久原本部周辺の集積地		鉱工業都市ひたちの軌跡が導く回廊	日鉱記念館
⑤坂東と陸奥を繋ぐ街道	長者山遺跡周辺の集積地		坂東と陸奥を繋ぐひたちの回廊	伊師町田園都市センター
⑥神宿る峰へ捧げる山車からくりと多様な祭礼	風流物周辺の集積地	からくりと祭礼が描く回廊	風流物展示施設	

- ビジターセンター
- (黄黒点線) メインガイドンス(1箇所)
 - (黒点線) サテライトガイドンス(5箇所)

- (黒) 指定・登録等文化財
- (白) 未指定文化財
- (黒点線) 文化財回廊を設定する主な範囲



図：日立市文化財回廊と拠点となるビジターセンターの位置

ア 市内全体を対象とした日立市文化財回廊

(ア) 悠久のひたちを巡る回廊

文化財回廊として、歴史文化の特徴（１）「悠久の日立の歩みが刻まれる大地と海」を示す文化財を周遊するルートを設定する。市内全体に広く分布する特徴的な地形・地質や樹木、自然を対象にした生業である漁業や鉱工業の関連施設等を周遊する。

この回廊のサテライトガイダンスは整備せず、次項に示す各文化財の集積地を対象とした文化財回廊のサテライトガイダンスを共用する。



写真：空からみた本市の海・山
（日立市報 HP より）

イ 日立市の歴史文化の特徴を示す文化財の集積地を対象とした日立市文化財回廊

(ア) 古と近代の理想郷ひたちを追想する回廊〈サテライトガイダンス：日立オリジンパーク〉

【現状と課題】

市の南部に位置し、貝塚や古墳時代の遺跡なども多く見られるとともに、産業発展を支えた重要港湾や大規模な工場なども発展しているが、近隣に拠点となる施設がない。

【主な取組内容】

文化財回廊として、歴史文化の特徴（２）『常陸国風土記』が描く原始・古代の豊かな生活を示す、泉が森周辺の文化財の集積地を主として周遊するルートを設定する。

また、周遊の拠点となるサテライトガイダンスとして、近代に「日立に桃源郷を造る」という理想の下、大規模な鉱山町を造った日立鉱山の一工場から独立・創業した日立製作所の記念館である、日立オリジンパークと連携し、周遊性を高める事業に取り組む。



写真：日立オリジンパーク

(イ) 中近世の情熱を辿る回廊〈サテライトガイド：暇修館〉

【現状と課題】

本市の中南部に位置する広い台地であって、都市化や丘陵部にまで及ぶ宅地開発が進んでいる地域である。この地域で見られる文化財は、顕在化している遺跡等は少なく、中世から近世の書簡、文献等の記録に残るものが多い。

【主な取組内容】

文化財回廊として、歴史文化の特徴
(3)－1「中世の奥七郡から翻った佐竹扇」、(3)－2「近世日立を巡った水戸黄門の足跡」、(3)－3「幕末の海防施設が語る動乱」を示す、大窪城跡周辺・諏訪神社周辺・助川海防城跡周辺の文化財の集積地を主として周遊するルートを設定する。

また、周遊の拠点となるサテライトガイドとして、佐竹氏の重臣大窪氏が居城とした大窪城跡に創建された水戸藩の郷校である暇修館跡に、昭和48年に復元された現暇修館の機能を整備する。周辺の遺跡等の顕在化を進めるとともに、書簡や文献等の記録を基にした情報提供を行い、先人の成し遂げた業績を辿る取組を進める。



写真：暇修館

(ウ) 鉱工業都市ひたちの軌跡が導く回廊〈サテライトガイド：日鉱記念館〉

【現状と課題】

本市の中西部から山間部に至る地域で、中心市街地には本市の文化財や歴史文化に関する資料を展示する日立市郷土博物館があり、近代の産業発展を支えた鉱山関係の資料を展示している日鉱記念館が、市街地から離れた山間部にある。また、山地には鉱業を支えた地下資源と関連の深い、日本最古である5億3,300万年前のカンブリア紀の地層が発見されているなど周遊の範囲が広範囲に及んでいる。

【主な取組内容】

文化財回廊として、歴史文化の特徴
(4)「日立鉱山が導いた近代鉱工業都市としての始まりと発展」を示す、旧久原本部周辺の文化財の集積地を主として周遊するルートを設定する。

また、周遊の拠点となるサテライトガイドとして、日立鉱山の創業者久原房之助の創業精神や、現在のJX金属(株)に至るまでの歴史を紹介した施設である日鉱記念館と連携し、路線バスや自家用車を利用して広範囲を周遊するための取組を進める。



写真：日鉱記念館

(エ) 坂東と陸奥を繋ぐひたちの回廊〈サテライトガイドンス：伊師町田園都市センター〉

【現状と課題】

本市北部に位置し、主な文化財として、国指定史跡「長者山官衙遺跡及び常陸国海道跡」があるほか、多くの観光客が訪れる利用率 32 年連続 1 位の国民宿舎「鶉の岬」があり、周遊性の向上が期待されている。

【主な取組内容】

文化財回廊として、歴史文化の特徴(5)「坂東と陸奥を繋ぐ街道」を示す、長者山遺跡周辺の文化財の集積地を主として周遊するルートを設定する。

また、周遊の拠点となるサテライトガイドンスとして、長者山遺跡に隣接する地域集會施設である伊師町田園都市センターを利用した機能整備を行う。



写真：伊師町田園都市センター

(オ) からくりと祭礼が描く回廊〈サテライトガイドンス：風流物展示施設〉

【現状と課題】

国指定重要有形・無形民俗文化財である日立風流物は、毎年、春の「日立さくらまつり」で公開されるほか、7年に1度の神峰神社の大祭礼では4台の山車が同時公開されている。

この民俗文化財を守る人々の高齢化や後継者不足が課題となっており、日頃から「日立風流物」に親しめる機会を提供し保存・活用を可能とする施設が求められている。

【主な取組内容】

文化財回廊として、歴史文化の特徴(6)「神宿る峰へ捧げる山車からくりと多様な祭礼」を示す、風流物周辺の文化財の集積地を主として周遊するルートを設定する。

また、周遊の拠点となるサテライトガイドンスとしての機能に加え、日立風流物の展示・紹介を行う施設として風流物展示施設を新たに整備する。



写真：日立風流物(模型)

表：重点的に実施する措置とその主な取組

番号	措置	実施主体	財源	前期 (2021～2023)	中期 (2024～2027)	後期 (2028～2030)
方針4-1 31 (再掲)	日立市文化財回廊の設定 文化財の集積地を効果的に利用できる周遊ルートの設定	市・関係機関	市費			
	「悠久のひたちを巡る回廊」の設定 市内の地形・地質の周遊ルートの設定					
	「古と近代の理想郷ひたちを追想する回廊」の設定 泉が森周辺の周遊ルートの設定					
	「中近世の情熱を辿る回廊」の設定 大窪城跡周辺の周遊ルートの設定					
	「鉱工都市ひたちの軌跡が導く回廊」の設定 旧久原本部周辺の周遊ルートの設定					
	「坂東と陸奥を繋ぐひたちの回廊」の設定 長者山遺跡周辺の周遊ルートの設定					
	「からくりと祭礼が描く回廊」の設定 日立風流物周辺の周遊ルートの設定					
方針4-1 32 (再掲)	サテライトガイダンス(ビジターセンター)の整備 周遊の拠点となる施設を整備し、周辺文化財の紹介資料や駐車場、トイレ、給水・休憩施設等の機能を整備(新設2か所、既存施設利用4か所)	市・関係機関	国補市費			
	メインガイダンスの整備 日立市郷土博物館の整備	市				
	サテライトガイダンスの整備 1 日立オリジンパークと連携した泉が森周辺の文化財の集積地における拠点整備	市・関係機関				
	サテライトガイダンスの整備 2 暇修館を活用した大窪城跡周辺の文化財の集積地における拠点整備	市				
	サテライトガイダンスの整備 3 日鉱記念館と連携した旧久原本部周辺の文化財の集積地における拠点整備	市・関係機関				
	サテライトガイダンスの整備 4 伊師町田園都市センターを整備した長者山遺跡周辺の文化財の集積地における拠点整備(新設)	市・関係機関				
	サテライトガイダンスの整備 5 日立風流物展示施設を新設した風流物周辺の文化財の集積地における拠点整備(新設)	市	国補市費			

(2) 優先的に行う日立市文化財回廊の設定とビジターセンターの整備

前項で示した文化財回廊の設定とサテライトガイドランスの整備のうち、優先的に行う整備として、本市の重要な文化財である長者山遺跡と日立風流物が含まれる文化財回廊「坂東と陸奥を繋ぐひたちの回廊」及び「からくりと祭礼が描く回廊」に関する整備を位置付ける。その整備内容は以下のとおりである。

ア 坂東と陸奥を繋ぐひたちの回廊〈サテライトガイドランス：伊師町田園都市センター〉

(ア)「坂東と陸奥を繋ぐひたちの回廊」の設定〔実施主体：市、財源：主に市費〕

長者山遺跡や古代官道等を周遊するルートを文化財回廊の一例として設定する。同じ歴史文化の特徴を示す文化財をはじめ、付近の他の文化財も幅広く含めることによって、市民や観光客のより体系的・効率的な本市の文化財への理解・把握を促進する。また、説明・案内設備の整備等によって、ルート上で文化財回廊についての情報提供を行う。

周遊の方法としては、十王駅や国民宿舎「鶉の岬」等を発着点とした小型バスによる見学や、古代官道のウォーキング・サイクリング等を検討する。

表：優先的に実施する措置とその主な取組

番号	措置	実施主体	財源	前期 (2021～2023)	中期 (2024～2027)	後期 (2028～2030)
31 方針 (再掲) 4 1	「坂東と陸奥を繋ぐひたちの回廊」の設定 長者山遺跡周辺の集積地を効果的に利用できる周遊ルートの設定	市・関係機関	市費			

(イ) サテライトガイドランスの整備〔実施主体：市、財源：主に市費〕

長者山遺跡の指定地近隣に位置する伊師町田園都市センターを、長者山遺跡の保存・活用のための機能を備えたサテライトガイドランスとして整備する。また、駐車場の整備も並行して実施する。

表：優先的に実施する措置とその主な取組

番号	措置	実施主体	財源	前期 (2021～2023)	中期 (2024～2027)	後期 (2028～2030)
32 方針 (再掲) 4 1	サテライトガイドランスの整備 4 伊師町田園都市センターを整備した長者山遺跡周辺の文化財の集積地における拠点整備（新設）	市・関係機関	国補市費			

(ウ) 長者山遺跡の保存・活用のための整備〔実施主体：市・市民、財源：主に市費〕

当文化財回廊の中心となる長者山遺跡の保存・活用のための整備を行う。整備では、市民の教育や生涯学習のため、長者山遺跡ガイドツアーや歴史文化の特徴に関するパンフレットの配布、説明板・案内板の設置等を行い、現地での体験学習を提供する。また、遺跡への理解を視覚的・直観的に促すため、ARを利用した仮想展示を行う。

表：優先的に実施する措置

番号	措置	実施主体	財源	前期 (2021~2023)	中期 (2024~2027)	後期 (2028~2030)
29 方針 3 (再掲) 4	市民ガイドによる文化財ツアーの開催 市民が主体となった文化財関連イベントにおける知識の活用	市・市民	市費			
方針 4 1	統一デザインの説明板・案内板の設置 表示デザインやロゴ等の統一 多言語表記対応	市	国補 市費			
33 ・ 34 ・ 36	遺跡等におけるARを利用した仮想展示 地元大学と連携したARコンテンツの作成	市・ 関係 機関	国補 市費			
(再掲)	歴史文化の特徴の解説書・パンフレットの作成 文化財に関する周遊に活かせる案内解説資料の作成	市・ 関係 機関	市費			



写真：伊師町田園都市センターの位置



写真：伊師町田園都市センター



写真：長者山遺跡ガイドツアーイメージ



写真：ARを利用した仮想展示イメージ
(山梨県南アルプス市の事例より)

イ からくりと祭礼が描く回廊〈サテライトガイダンス：風流物展示施設〉

(ア) 「からくりと祭礼が描く回廊」の設定〔実施主体：市、財源：主に市費〕

かみね公園や旧助川西上町舞屋台等を周遊するルートを文化財回廊として設定する。周遊ルートには、旧共楽館や日鉦記念館等の同じ歴史文化の特徴を示す文化財をはじめ、付近の他の文化財も幅広く含めることによって、市民や観光客のより体系的・効率的な本市の文化財への理解・把握を促進する。また、説明・案内設備の整備等によって、ルート上で文化財回廊についての情報提供を行う。

表：優先的に実施する措置とその主な取組

番号	措置	実施主体	財源	前期 (2021～2023)	中期 (2024～2027)	後期 (2028～2030)
31 方針 4-1 (再掲)	「からくりと祭礼が描く回廊」の設定 日立風流物周辺の集積地を効果的に利用できる周遊ルートの設定	市・ 関係 機関	市費			

(イ) サテライトガイダンスの整備〔実施主体：市、財源：主に市費〕

旧宮田村（現宮田町、白銀町、神峰町、本宮町、東町）の範囲に適切な土地を選定し、日立風流物及び日立のさらの保存・活用のための機能を備え、日立風流物の実物大の山車の常設展示を可能とする風流物展示施設を新たに整備し、サテライトガイダンスとして活用する。

風流物展示施設では、伝統芸能の後継者育成のため、施設内に日立風流物の人形操作や鳴物の練習・研修場所を確保する。また、市民の教育や生涯学習のため、文書や映像等を保管したライブラリーや人形操作の体験コーナーを設置する。さらに、日立風流物への理解を視覚的・直観的に促すため、日人形の自動演技や映像演出、動画解説を用いた山車の常設展示等を行う。

表：優先的に実施する措置とその主な取組

番号	措置	実施主体	財源	前期 (2021～2023)	中期 (2024～2027)	後期 (2028～2030)
32 方針 4-1 (再掲)	サテライトガイダンスの整備 5 日立風流物展示施設を新設した風流物周辺の文化財の集積地における拠点整備（新設）	市・ 関係 機関	国補 市費			